

## 私の留学体験記

広島県立府中高等学校 2年 天野 茜 (あまの あかね)

留学期間 平成30年3月24日 ~ 平成30年4月8日 (16日間)

留学先 ミリラニ高校 (ホノルル, アメリカ合衆国・ハワイ州)

私は今回の留学で学んだことが3つあります。

1つ目は、自らの意思をはっきりと表現することが大切だということです。ハワイに行つてすぐのときは、初めての環境で一人だったため緊張してうまく話せていませんでした。この文法であっているのか、どう答えるのが正解なのかなど考え、結果的に返答が曖昧になってしまい、ホストファミリーを困らせてしまっていました。そんな時、ホストが “Don't be shy.” と優しく声をかけてくれました。その時、私が思っていることをはっきりと伝えたほうがホストも困らずに済むと分かり、それ以降は自分の思ったことをきちんと伝えるようにしました。すると、次第にコミュニケーションも取れるようになり、英語に触れあう機会を自ら増やすことができました。

2つ目は、生活様式がかなり違うということです。例えば、家で食べる食事はバイキング形式であることが多く、食べる場所はソファだったりダイニングテーブルだったり自由でした。食べている最中にゲームをしたり、食べ終わったら必ずデザートがあったりと私の日本の家とは全く違って驚きました。また、移動方法はどこに行くにも車を使い、あまり歩くことはありませんでした。学校生活も日本とは違いました。授業の始まりには号令はなく、授業中に携帯電話を操作している人もたくさんいました。授業時間は57分と日本よりも長かったです。その代わり15時にはすべての授業が終わるため早く帰ることができました。このような生活感の違いを肌で感じることができました。

3つ目は、本場の英語を聞くことの大切さです。私はリスニングがあまり得意ではなく不安を抱えて渡航しました。ハワイに到着してから、その不安は大きく膨れ上がりました。本場の英語は私が想像しているものよりもはるかに速かったのです。問題集のリスニングなどとは比にならないと感じました。何日か経ってやっとホストスチューデントのスピーキングの速さに慣れてきたかなと思っていましたが、ホストスチューデントと友達が話している内容は、二週間も時間はありましたが、一度も完璧に理解することはできませんでした。リスニングの力は全然つかなかったなと思っていましたが、日本に戻って問題集のリスニングをやってみると、それらがとてもゆっくりだと感じ、英語力がついてたのだと改めて感じることができ、嬉しく思いました。

この2週間は、長いようでとても短かったように思います。今思い返すともう少し勉強をしていたらな、もう少し単語を知っていたらな、など後悔する部分が多くあります。私は幸い修学旅行でもう一度ハワイに行く機会があります。その時に思いきり楽しめるように、今のうちからこの留学で見つけた自分の課題などを克服し、成長できるようにしようと思います。また、勉強面だけでなくハワイでの経験を活かし、人間としても成長していけるように努力していこうと思います。

